



# 2005年度中間期決算及び 年度見通し説明資料

2005年 10月

# <目次>

## I . 2005年度中間期実績

・中間期決算実績サマリー(1)	4
・中間期決算実績サマリー(2)	5
・税引前利益増減要因	6
・経常利益・特別損益	7
・中間期決算実績 セグメント別	8
〈船舶・海洋〉	9
〈原動機〉	10
〈機械・鉄構〉	11
〈航空・宇宙〉	12
〈中量産品〉	13
〈その他〉	14
・貸借対照表	15
・キャッシュ・フロー,有利子負債	16
・補足資料	17

## II . 2005年度業績見通し

・業績見通しサマリー	19
・業績見通し セグメント別	20
・2005年度見通し(受注)	21
・2005年度見通し(売上・損益)	22

### <補足>

- [単独]2005年度中間期決算実績サマリー
- [単独]2005年度業績見通しサマリー

# I . 2005年度中間期実績

---

# 中間期決算実績サマリー(1)

(億円)

	'04年度中間期	'05年度中間期	増減
受注高	10,862	12,705	+1,843
売上高	11,263	12,537	+1,274
営業利益	△ 40	241	+282
経常利益	△ 65	214	+279
特別損益	△ 188	-	+188
税引前中間純利益	△ 253	214	+467
中間純利益	△ 215	149	+364

# 中間期決算実績サマリー(2)

## 受注高 ⇒ 対前年同期 1,843億円増加 (10,862億円→12,705億円)

- ・船舶・海洋部門並びに原動機部門は大型案件の受注計上があった前年同期を下回ったが、中東向けの新交通システムや化学プラントの大型案件受注があった機械・鉄構部門が大幅に増加。又、航空・宇宙部門がボーイング787の新機種受注等により増加したほかフォークリフト、汎用エンジン、過給機、工作機械等の受注が好調な中量産品部門が増加したことにより、受注高は前年同期を1,843億円上回る12,705億円となった。

## 売上高 ⇒ 対前年同期 1,274億円増加 (11,263億円→12,537億円)

- ・船舶・海洋部門が前年同期と比べ船舶引渡隻数が少ないことにより減少したものの、近年の好調な受注状況を反映し、機械・鉄構部門、原動機部門、中量産品部門及び航空・宇宙部門いずれも増加。

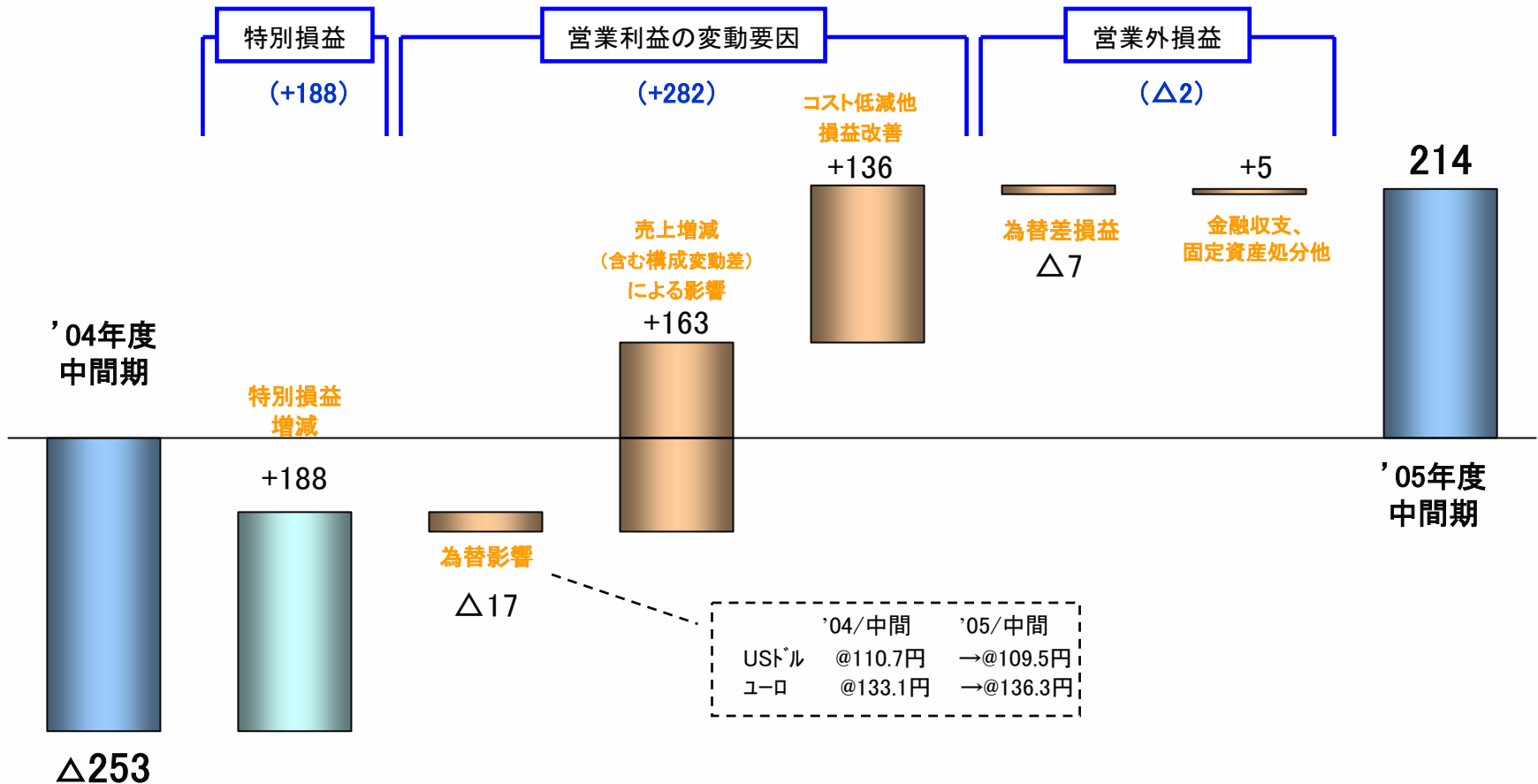
## 純利益 ⇒ 対前年同期 364億円増加 (△215億円→149億円)

- ・売上の増加及び販売費・一般管理費の減少、コスト低減を中心とした採算改善活動の推進により、全セグメントの営業利益が改善され、経常利益が前年同期△65億円の赤字から214億円の黒字に転換。

経常利益の改善に加え、前年同期の特別損失計上188億円に対し、当中間期は特別損失の計上もないことから、税引前利益は467億円の改善となり、税金費用等の増加(103億円)を差し引いた純利益は364億円の改善。

# 税引前利益増減要因

対前年同期 467億円増加(△253億円→214億円)



# 経常利益・特別損益

## ・経常利益（対前年同期 +279億円（△65億円→214億円））

	'04年度 中間期	'05年度 中間期	増減
営業利益	△ 40	241	+282
為替差損益	△ 2	△ 10	△ 7
金融収支	△ 25	△ 22	+3
その他	3	5	+1
営業外損益	△ 24	△ 27	△ 2
経常利益	△ 65	214	+279

## ・特別損益（対前年同期 +188億円（△188億円→0億円））

	'04年度 中間期	'05年度 中間期	増減
・固定資産売却益	19	-	△ 19
・製品保証引当金繰入額	△ 108	-	+108
・固定資産減損損失	△ 60	-	+60
・風水災損失	△ 37	-	+37
特別損益	△ 188	-	+188

※当中間期は特別利益、特別損失ともに計上なし

# 中間期決算実績 セグメント別

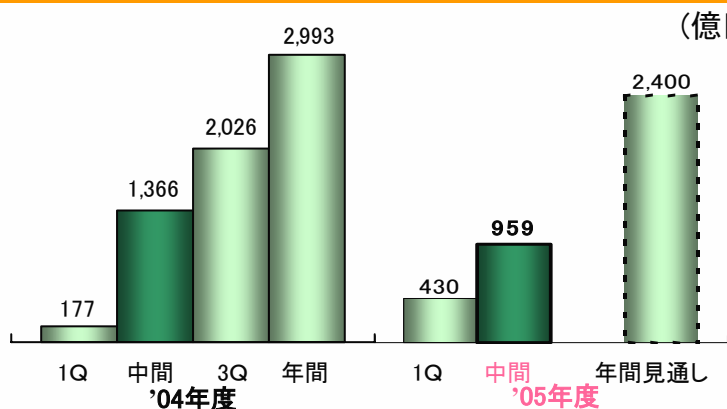
(単位: 億円)

	受 注		売 上		営業利益	
	'04年度 中間期	'05年度 中間期	'04年度 中間期	'05年度 中間期	'04年度 中間期	'05年度 中間期
船 舶・海 洋	1,366	959	1,318	1,030	△ 67	△ 48
原 動 機	2,953	2,777	2,767	3,338	14	141
機 械・鉄 構	1,645	3,490	1,746	2,394	△ 62	△ 28
航 空・宇 宙	814	1,231	1,451	1,570	36	64
中 量 産 品	3,613	3,796	3,671	3,864	15	79
そ の 他	468	449	307	338	22	32
合 計	10,862	12,705	11,263	12,537	△ 40	241



# 〈船舶・海洋〉

受注



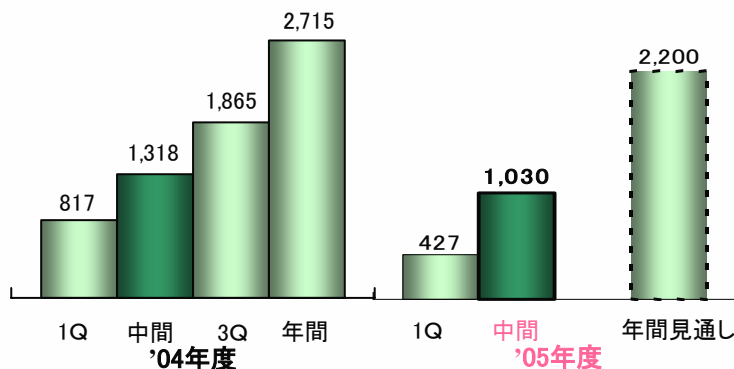
受注高 : 対前年同期  $\Delta 406$ 億円の減少(1,366億円→959億円)

- ・当期はLNG船2隻、コンテナ船2隻、自動車運搬船3隻の計7隻受注。
- ・新造船発注量は依然高水準の見込みであるが、船社、造船所ともに様子見の状況も出始めている。このような中で得意船種のLNG船、コンテナ船等を中心に受注活動を展開。

【受注隻数】

	中間期	年間
'04 :	10隻(1Q:3隻 2Q:7隻)	23隻
'05 :	7隻(1Q:4隻 2Q:3隻)	-

売上

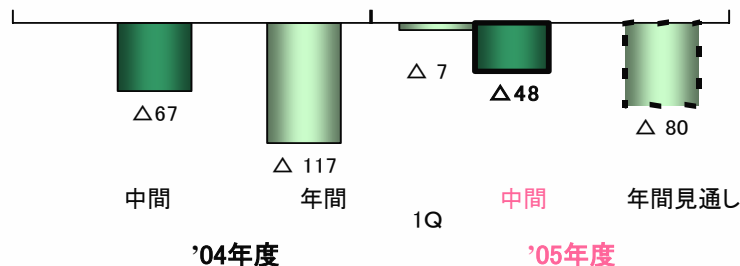


【契約残隻数 : 60隻(内、LNG船14隻)】

売上／損益 : 対前年同期  $\Delta 288$  /  $+19$ 億円の減収増益

- ・当期の引渡しはコンテナ船4隻、VLCC1隻、他2隻の計7隻となり、売上は12隻の引渡しがあった前年同期を $\Delta 288$ 億円下回った。
- ・当期は船種構成の変化並びにコスト改善対策推進により、前年同期からは $+19$ 億円の改善したが、前年度に引き続き、円安期、需要低迷期に受注した案件の売上が中心であり、鋼材等資材費高騰の影響も受けたため、損益は赤字となった。

営業利益

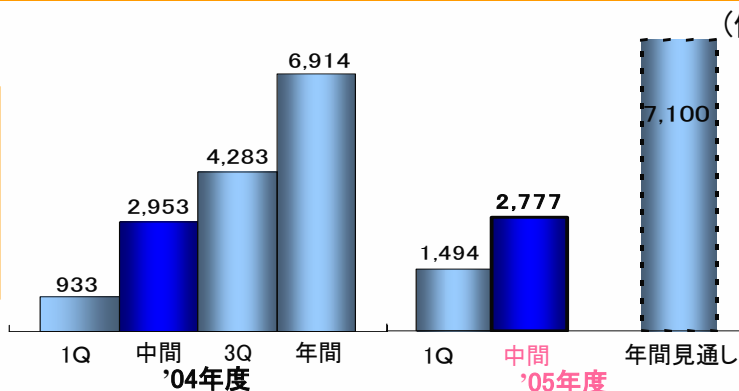


【引渡隻数】

	中間期	年間
'04 :	12隻(1Q:7隻 2Q:5隻)	28隻
'05 :	7隻(1Q:2隻 2Q:5隻)	-

# 〈原動機〉

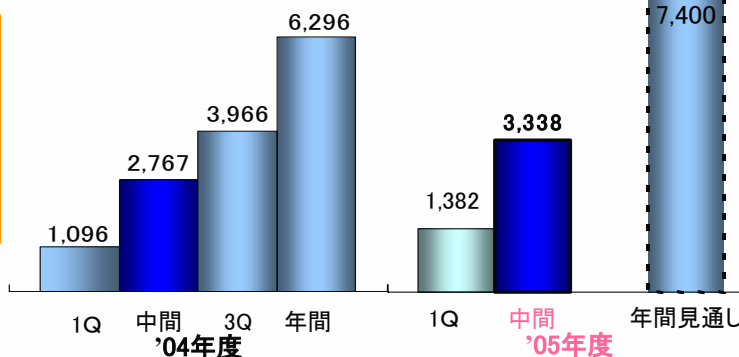
受注



**受注高 : 対前年同期 △175億円の減少 (2,953億円→2,777億円)**

- ・輸出はガスタービンコンバインドサイクル発電プラントを中心に商談が活発であり、チリ、中国向け受注等があったほか、原子力発電所向け取替用蒸気発生器をフランス電力公社から初めて受注。一方、国内は新規大型プラントの受注がなく、改良サービス工事の規模は維持しているものの、中間期では、受注高は前年同期に比べて減少。

売上



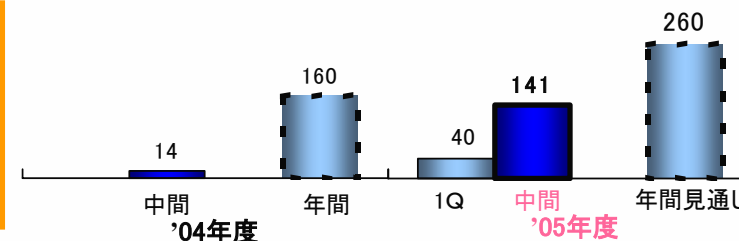
**【ガスタービン契約残台数 (単独)】**

	中間	年間
'04	56台	71台
'05	69台	

**売上／損益 : 対前年同期 +571／+127億円の増収増益**

- ・近年の好調な受注状況を反映して、火力発電プラント工事の売上増加等により、+571億円の大幅な増収。

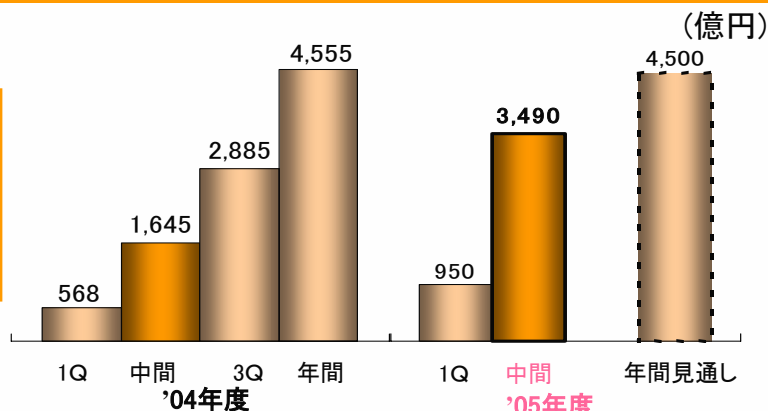
営業利益



- ・損益は売上増の影響並びに信頼性維持費用等のコスト低減により、+127億円の改善。

# 〈機械・鉄構〉

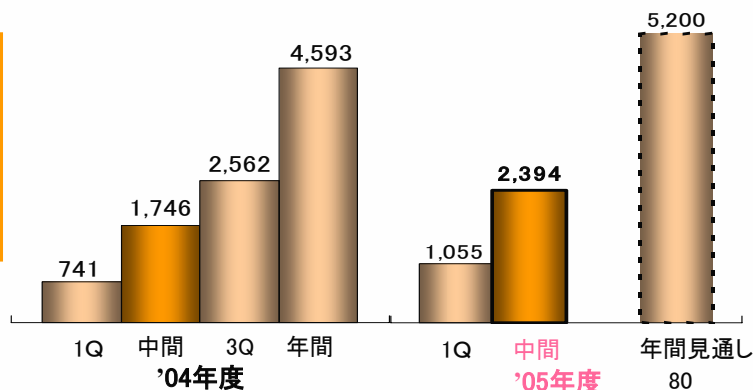
受注



**受注高: 対前年同期 +1,845億円の増加** (1,645億円→3,490億円)

・国内向け工事は減少したが、輸出工事は交通システム、化学プラント等の市場が活況であり、ドバイ向け交通システム、サウジアラビア向けメタノールプラント等の大型案件を受注した結果、前年同期を大幅に上回る受注高となった。

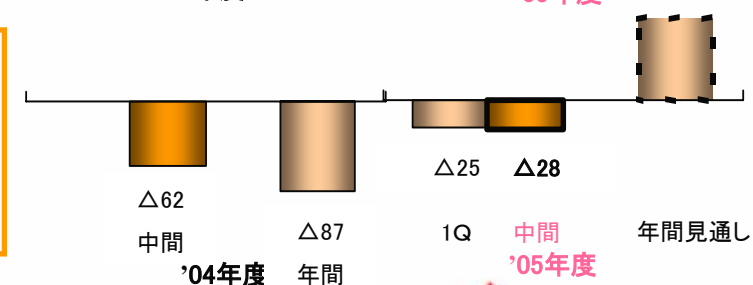
売上



**売上／損益 : 対前年同期 +647／+34億円の増収増益**

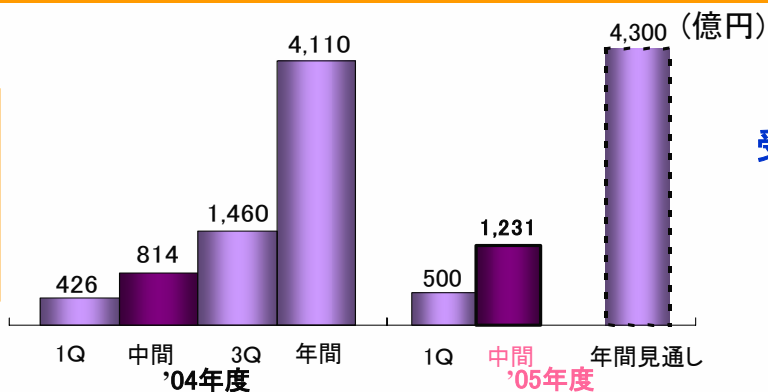
・化学プラントや環境装置関連の売上は増加したものの、当中間期は海外向けプラントで不採算工事もあったため、損益は34億円の改善にとどまった。

営業利益



# 〈航空・宇宙〉

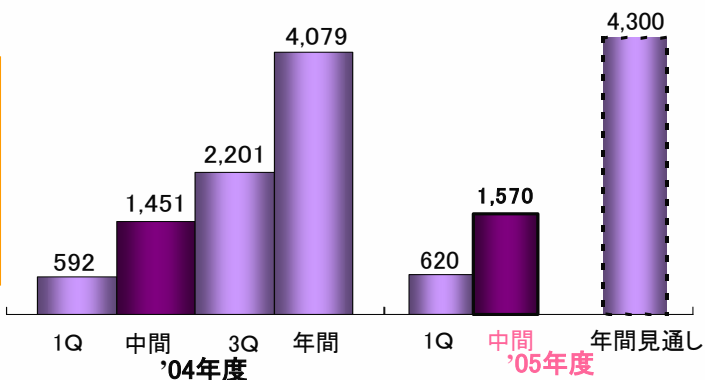
## 受注



**受注高 : 対前年同期 +417億円の増加 (814億円→1,231億円)**

・B787の新規受注他により、民間輸送機関連の受注が増加したほか、地对空誘導弾ペトリオット用部品他の防衛関連も増加し、前年同期を上回る受注高を確保。

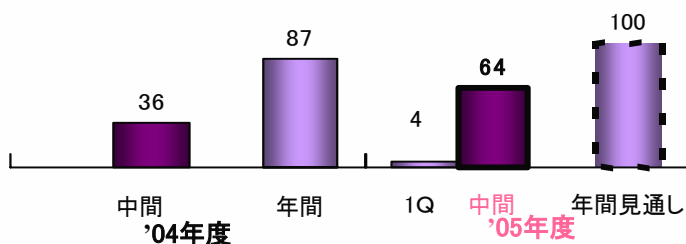
## 売上



**売上／損益 : 対前年同期 +119／+27億円の増収増益**

・売上は、防衛関連が減少したものの、民間輸送機関連や宇宙機器の売上が増加したため、+119億円の増収となり、損益は+27億円の改善。

## 営業利益

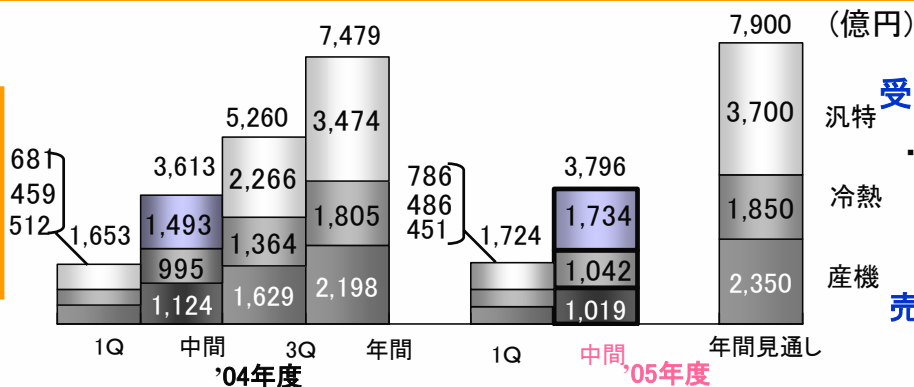


【B777 引渡機数】

	中間	年間
'04	18機	39機
'05	25機	-

# 〈中量産品〉

## 受注



**受注高 : 対前年同期+183億円の増加** (3,613億円→3,796億円)

・冷熱・産機はほぼ前年度なみ。

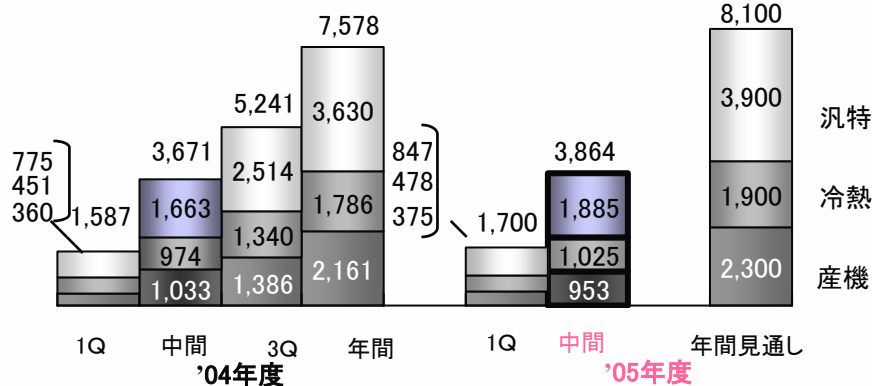
汎特 (フォークリフト、汎用エンジン、ターボ等) は、受注が伸長し、部門全体では前年同期を上回る受注高を確保。

**売上／損益 : 対前年同期 +193／+63億円の増収増益**

・売上は産機製品が減少したものの、汎特並びに冷熱も増加したため、+193億円の増収。

・損益は増収効果並びに資材費高騰を吸収した採算改善により、+63億円の改善。

## 売上



(汎特: 売上+222億円 1,663→1,885億円)

フォークリフト、汎用エンジン、ターボを中心に増収。

(冷熱: 売上+50億円 974→1,025億円)

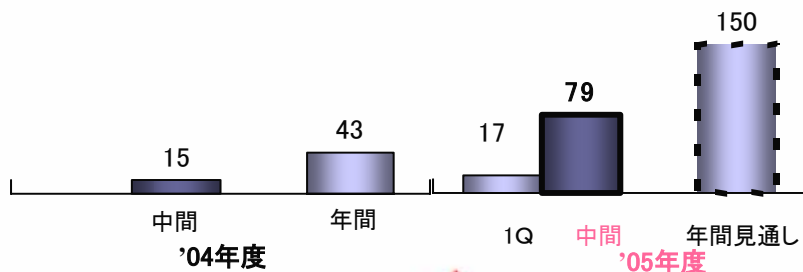
パッケージエアコン、ルームエアコンは前年同期並み。

カーエアコンが前年同期を上回り、冷熱トータルで若干の増収。

(産機: 売上△79億円 1,033→953億円)

工作機械は好調な受注を反映し、前年同期を上回ったが、新聞用オフセット輪転機、押出成形機等が減少したため、産機トータルでは減収。

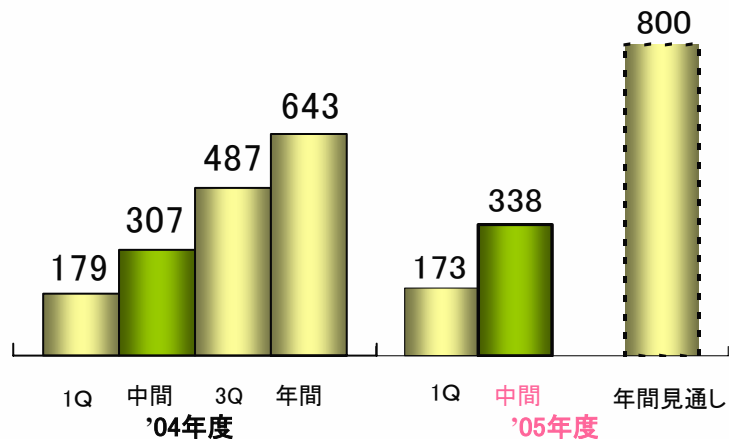
## 営業利益



# 〈その他〉

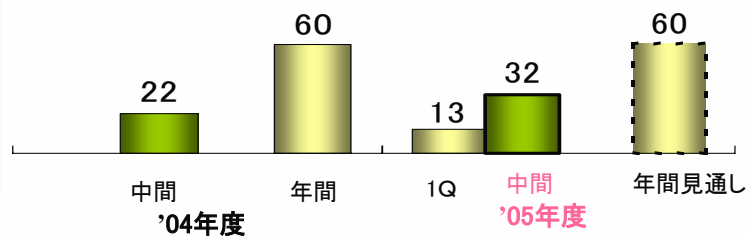
(億円)

売上



- ・建築・不動産
- ・情報・通信サービス
- 他

営業利益



# 貸借対照表

	'04年度末 ('05.3.31)	'05中間期末 ('05.9.30)	増減	(億円)
<b>資産の部</b>				
売上債権	10,488	9,543	△945	
たな卸資産	9,585	10,563	+978	
その他流動資産	4,582	4,614	+32	
流動資産計	24,656	24,722	+65	
固定資産計	13,654	14,957	+1,302	投資有価証券 : +1,284
資産合計	38,311	39,679	+1,367	
<b>負債・資本の部</b>				
買入債務	6,491	6,125	△365	
前受金	3,634	4,041	+407	
その他流動負債	5,553	5,714	+160	
流動負債計	15,679	15,882	+202	
固定負債計	9,379	9,668	+288	
負債合計	25,059	25,550	+491	
少数株主持分	152	177	+25	
資本合計	13,099	13,950	+851	利益剰余金 : +23 有価証券評価差額金 : +808
負債・少数株主持分 及び資本合計	38,311	39,679	+1,367	
株主資本比率	34.2%	35.2%	△1.4pt	

# キャッシュ・フロー，有利子負債

## キャッシュ・フロー (億円)

	'04年度 中間期	'05年度 中間期	増減
営業CF	1,506	782	△ 723
投資CF	△ 845	△ 477	+368
フリーCF	660	305	△ 355
財務CF	916	△ 479	△ 1,395

## 有利子負債 (億円)

	'04年度末 (05.3.31)	'05中間期末 (05.9.30)	増減
有利子負債	11,728	11,403	△ 325

## '05年度中間期の概要

- ・営業キャッシュフローは、税引前利益は増加したが、売上規模の拡大に伴い、運転資金が前年同期に比べ増加したため、△723億円減少の782億円となった。
- ・投資キャッシュフローは、投資有価証券等の支出が減少したこと等により、当中間期は△477億円となった。
- ・この結果、フリーキャッシュフローは305億円のプラスとなった。(尚、前年同期からは△355億円の減少)
- ・有利子負債は前年度から325億円減少。



# 補足資料

## 1. 為替レート

(¥/US\$)

年度	'02年度		'03年度		'04年度		'05年度
	中間	年度	中間	年度	中間	年度	中間
売上計上 平均レート	122.5	122.4	119.1	113.0	110.7	108.7	109.5
(参考) 期末日レート	122.6	120.2	111.3	105.7	111.1	107.4	113.2

## 2. 海外地域別売上高

(億円)

年度	'02年度		'03年度		'04年度		'05年度	
	中間	年度	中間	年度	中間	年度	中間	年度
(連結)北米	1,475 (35%)	2,712 (32%)	1,179 (30%)	2,621 (29%)	1,257 (27%)	2,655 (25%)	1,483 (25%)	
中南米	330 (8%)	684 (8%)	523 (13%)	951 (11%)	587 (12%)	1,471 (14%)	555 (9%)	
アジア	903 (21%)	2,127 (26%)	1,053 (27%)	3,246 (36%)	1,854 (39%)	4,168 (40%)	2,633 (44%)	
中近東	286 (7%)	555 (7%)	212 (5%)	408 (5%)	182 (4%)	281 (3%)	238 (4%)	
欧州	1,085 (25%)	1,930 (23%)	693 (18%)	1,196 (13%)	671 (14%)	1,623 (15%)	916 (15%)	
その他	166 (4%)	368 (4%)	280 (7%)	502 (6%)	196 (4%)	293 (3%)	176 (3%)	
合計	4,249 (100%)	8,378 (100%)	3,942 (100%)	8,926 (100%)	4,749 (100%)	10,493 (100%)	6,003 (100%)	

・欧州は'04年度よりロシア・東欧を含む

## Ⅱ. 2005年度業績見通し

---

# 業績見通しサマリー

(単位: 億円)

	'04年度 (実績)	'05年度 (見通し)	増減
受注高	27,228	27,300	+72
売上高	25,907	28,000	+2,093
営業利益	147	570	+423
経常利益	125	360	+235
税引前利益	163	360	+197
当年度純利益	40	180	+140

## 【受注】

- 海外大型案件の受注や、中量製品の好調維持で年間見通しは変更なし。

## 【売上】

- 2002年度以降の受注回復を反映し売上増加。

## 【営業利益】

- 売上増加に加え、「アクション05」で損益改善活動を展開中。
- 資材費高騰他の悪化要因をカバーし、利益回復。

◇主要通貨の未確定外貨はほとんどないため、為替レート変動の影響は軽微となる見込み。

# 業績見通し セグメント別

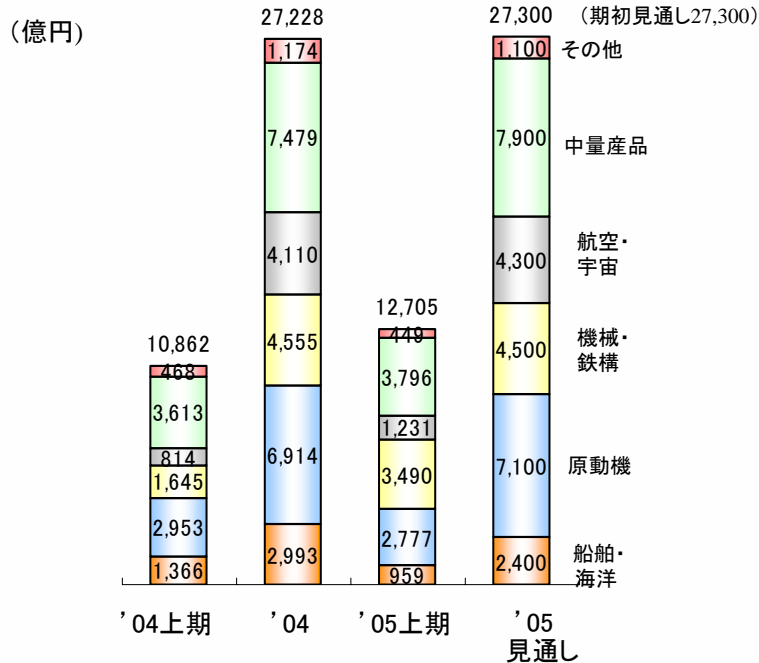
(単位:億円)

	受注	売上	営業利益
船舶・海洋	2,400	2,200	△ 80
原 動 機	7,100	7,400	260
機 械・鉄 構	4,500	5,200	80
航 空・宇 宙	4,300	4,300	100
中 量 産 品	7,900	8,100	150
そ の 他	1,100	800	60
合 計	27,300	28,000	570

◇2005年度第1四半期に発表した見通しから変更はありません。

# 2005年度見通し(受注)

## <連結受注の推移:セグメント別>



## 1. 上期の評価

### ◇前年同期を上回る水準を確保

- ・総合エンジニアリング力を発揮し大型プラント受注
- ・中量産品を中心に需要拡大、新型機種投入効果等で受注好調

## 2. 今後の展開

### ◇上期の好調を維持し、採算重視で目標達成

#### [船舶・海洋]

- ・船価重視で案件絞り込み

#### [原動機]

- ・GTCC: 欧州・北中南米・アジア向けに注力
- ・国内サービス事業の確保

#### [機械・鉄構]

- ・コンプレッサ、LNGタンク等の輸出案件確保

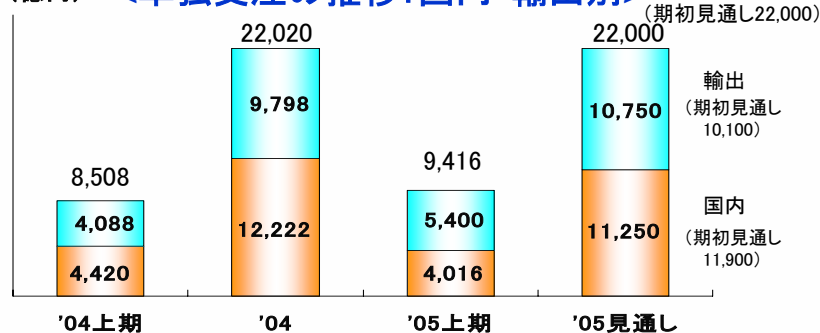
#### [航空・宇宙]

- ・民間航空機: 需要回復及びB787立上りで受注拡大

#### [中量産品]

- ・中小型エンジン、フォークリフト、過給器: 欧州排ガス規制対応による需要増加と新型機種の投入効果で受注増加
- ・工作機械: 自動車関連産業向けを中心に好調維持

## <単独受注の推移:国内・輸出別>



# 2005年度見通し(売上・損益)

[連結ベース]

(億円)

	上期		
	'04	'05	差額
売上	11,263	12,537	1,274
営業損益	▲40	241	282
経常損益	▲65	214	279
税引前損益	▲253	214	467

年度見通し	
'04	'05
25,907	28,000
147	570
125	360
163	360

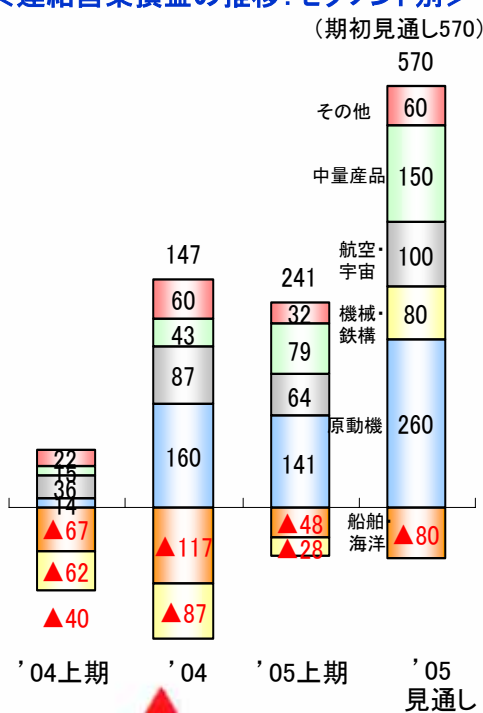
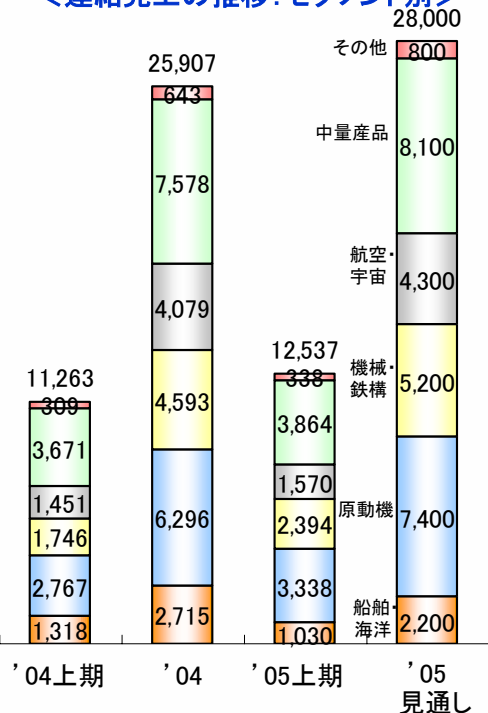
## 1. 上期の評価

◇売上増加、コスト低減、製品品質向上で  
資材費アップなどを吸収し前年同期比改善

## 2. 今後の展開

<連結売上の推移:セグメント別>

<連結営業損益の推移:セグメント別>



## ◇アクション05の成果発揮

[船舶・海洋]

- ・円安、需要低迷期受注船の計上で依然赤字
- ・資材費高騰をカバーすべく全方位コスト低減推進

[原動機]

- ・サービス拡大、製品信頼性維持費用改善

[機械・鉄構]

- ・売上増加、不採算工事の減少で採算改善

[航空・宇宙]

- ・材料・部品費アップのミニム化、増産対応の工程整流化

[中量産品]

- ・事業強化対策の効果発揮
- ・増産効果、採算改善

# [単独]2005年度中間期決算実績サマリー

(億円)

	'04年度 中間期	'05年度 中間期	増減
受注高	8,508	9,416	+908
売上高	9,079	9,944	+864
営業利益	△ 121	110	+231
経常利益	△ 129	94	+224
特別損益	△ 125	-	+125
税引前中間純利益	△ 255	94	+350
中間純利益	△ 173	79	+253

# [単独]2005年度業績見通しサマリー

(億円)

	'04年度 (実績)	'05年度 (見通し)	増減
受注高	22,020	22,000	△ 20
売上高	20,979	22,200	+1,221
営業利益	△ 97	350	+447
経常利益	△ 96	250	+346
税引前中間純利益	2	250	+248
当年度純利益	△ 20	150	+170

◇配当は年間4円(中間0円)を予定